

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 江戸川区推進プログラムが

まとまりました

カヌー競技が 江戸川区で開催！

2020年7月、葛西臨海公園に隣接する都有地でカヌー（スラローム）競技が開催されます。今回の施設整備により、国内初となる人工の競技場が完成します。



写真提供 日本カヌー連盟

区では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功と、大会後のさらなる発展を目指すための取り組みについて検討を重ねてきました。また、検討に際し、区民の皆さんから数多くの貴重なアイデアをいただきました。今号では、推進プログラムの内容を紹介します。

☎企画担当係 ☎5662-6045

江戸川区推進プログラムはこちら

2020年への夢

～期待のホープと
オリンピックの熱き思い～



池江 璃花子さん（競泳）

写真提供 フォート・キシモト

東京大会を見据え、リオで世界に挑む

昨年は世界の舞台を幾つも体験でき、大きな飛躍の年になりました。特に世界選手権では世界のレベルを肌で感じ、「まだまだ頑張らないといけない」と思って練習に励みました。その結果、ワールドカップでは日本新記録を出すことができ、大きな自信になりました。しかし、今回の結果は第1ステップと考え、もっとタイムを伸ばしていきたいと思っています。

私の目標はオリンピックでメダルを取ることです。それを実現させるために、今年行われるリオデジャネイロ大会の出場に向け、4月の日本選手権で派遣標準記録突破を目指します。そして、リオに出場することができ、そこで最高の泳ぎができれば、4年後の東京大会につながると確信しています。

いけえ りかこさん 昨年10月の競泳・ワールドカップ2015東京大会女子100mバタフライで57秒56の日本新記録で優勝。小岩第四中学校3年。27年度江戸川区スポーツ栄誉賞受賞。

スポーツの力で人々に感動を

ローマオリンピックメダリスト・竹宇治 聡子(旧姓・田中)さん 私はオリンピックを通じて、「努力に“これでいい”という終わりはない。苦しいことや辛いことがあっても、諦めなければ必ず結果が出る」ということを学びました。4年後を目指すアスリートの皆さんには大きな志を持ち、人々から称賛され、感動を与える選手になってほしいと思います。

スポーツは、人々の絆を深める無限の力を持っています。東京大会を機に、スポーツの楽しさを分かち合い、大いなる「文化」として一層根付いてほしいですね。



アスリートを強力サポート！ スポーツ夢基金を創設しました

オリンピック・パラリンピック・デフリンピック競技大会などで活躍が期待されるアスリートを支援する基金を創設しました。寄付金などをもとに、活動支援金を交付します。

アスリートの夢や目標を、区民の皆さんで応援していきましょう。

主な対象者

- 日本オリンピック委員会における強化指定選手
- 国内強化指定選手
- 世界大会における日本代表選手

☎スポーツ係 ☎5662-1636

東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 江戸川区推進プログラム

開催まで
あと4年

区では、2020年における本区の姿、また、2020年以降の姿も見据えながら、「スポーツ」「教育」「文化・国際交流・おもてなし」「安全・安心」「まちづくり」の5つの柱を軸とした取り組みを総合的に推進し、大会の成功を目指します。また、大会開催が生み出す活気を地域社会の更なる発展につなげていきます。

なお、推進プログラムの内容は、企画課及び区ホームページでご覧になれます。

企画担当係（区役所3階2番） ☎5662-6045



Ⅲ 文化・国際交流・おもてなし

2020年における本区の姿

- 江戸川区の文化・産業の魅力が国内外に発信され、体験事業も広く行われている
- 国内外の大勢の来訪者が、快適に滞在を楽しめる環境となっている
- 多方面にわたってボランティアが育ち、江戸川区民ならではの「おもてなし」の気持ちをもって広く活動している

2020年以降の本区の姿

- 江戸川区の魅力が広く知れ渡ること、リピーターだけではなく新たに訪れる方も増え、更に賑わいのあるまちとなっている
- 地域交流や国際交流が盛んに行われ、新たな文化創造の息吹がもたらされる
- 2020年東京大会などでのボランティア経験を活かし、様々な分野でその実践が見られるようになる

取り組み例

ボランティア育成講座（語学・福祉・ガイド等）／商店を対象とした外国人おもてなし研修／オリンピック・パラリンピック特設サイトの開設／伝統芸能や日本文化体験機会の創出／区特産物（金魚・小松菜・伝統工芸等）に関する体験企画／外国人に向けた区名産品の販売促進／多言語に対応した情報誌の作成やアプリの開発／外国人の「食」への対応（宗教別の対応、多言語メニュー）／出場国の料理を味わうイベントの開催／銭湯のPR（スタンプラリー、銭湯アプリの開発） など



I スポーツ

2020年における本区の姿

- 豊かな自然や充実した施設環境をもとに、誰もがスポーツに親しんでいる
- スポーツ施設のバリアフリー化が進み、広く障害者スポーツが行われている
- 大会開催やアスリートへの応援を通じて、熱気と興奮に包まれる
- 親水河川の拠点整備が進み、カヌーをはじめとする水上スポーツが盛んになる



2020年以降の本区の姿

- 多様なスポーツに親しむことにより、誰もが健康で充実した生活を営んでいる
- 障害者スポーツを通じた交流が行われ、障害者への理解もより深まっている
- 大会での世界レベルのパフォーマンスをきっかけに、スポーツへの参加やレベル向上への意欲が高まり、トップアスリートが多数輩出される
- カヌー競技のメッカとして国際大会等が開催され、国内外からトップレベルの選手が集うまちとして栄える。また、競技場を活用した選手の育成も進み、世界で活躍する選手が育っていく

取り組み例

トップアスリートによるスポーツ教室／パラリンピック競技種目のPR・体験／スポーツ施設のバリアフリー化及び機能充実／「江戸川区スポーツ夢基金」によるトップアスリートへの支援／水上スポーツ拠点（新左近川親水公園）の整備／カヌー体験教室／広報媒体を活用したカヌー競技の紹介／江戸川区カヌー協会の設立／公園への健康器具の設置 など

Ⅳ 安全・安心

2020年における本区の姿

- 地域ぐるみの防犯活動が活発に行われ、防犯意識が高まっている
- 来訪者を含めた防災行動の支援体制が整う
- 飲食店や宿泊施設における衛生管理の徹底に加え、国外からの来訪者に対する診療環境も整い、安心して滞在できるまちになっている



2020年以降の本区の姿

- 体感治安が向上し、犯罪のない安全で安心なまちとなっている
- 災害に対する意識や知識が向上し、いざという時に適切かつ迅速な行動がとれるようになっている
- 安心かつ快適に滞在できるまちとして認知されることによって、飲食店や宿泊施設の利用が進み、まちが更に活性化していく



取り組み例

防犯パトロール／避難誘導案内サイン看板の設置／多言語に対応した災害時行動パンフレットの作成／競技会場周辺にある防災行政無線の高性能化／競技会場周辺における区民参加型防災訓練の実施／医療機関及び薬局・薬店を掲載した多言語マップの作成／外国人診療への対応／飲食店や宿泊施設への衛生監視指導／輸入感染症発生時における対応体制の構築 など

Ⅱ 教育

2020年における本区の姿

- オリンピック・パラリンピック教育を通じて、その歴史や意義を学び、スポーツに対する関心が高まっている
- 外国文化への理解が深まり、国際感覚が身に付いている
- 水と緑豊かな環境創造の歴史や、自然との両立を図ったカヌー競技場整備の経緯を学び、自然環境を尊ぶ意識が浸透している
- 障害者スポーツの体験等を通じ、誰もが障害について正しく理解し、共に助け合う大切さを学んでいる



2020年以降の本区の姿

- 大会で味わった感動をきっかけに、多くの子どもたちが世界への夢を抱き、自身の可能性にチャレンジしていく。また、世界レベルのパフォーマンスに影響を受け、自らもトップアスリートを目指す子どもが増えている
- 大会などでのボランティア経験や外国人との交流を通して、世界へ羽ばたく国際感覚豊かな人材が育っていく
- 自然環境や地域を愛する心が、次代の子どもたちに受け継がれている
- “心のバリアフリー”が浸透し、思いやりの輪が広がっている

取り組み例

オリンピック・パラリンピック教育／障害者スポーツ体験／オリンピック・パラリンピックの特徴を取り入れた運動会（学校・幼稚園・保育園等）／一校一国応援運動／オリンピック・パラリンピック応援給食（学校・幼稚園・保育園等）／外国人講師との英会話学習（学校・幼稚園・保育園等）／「青少年の翼事業」OBを中心としたボランティア活動の展開／自然体験や自然観察会 など

V まちづくり

2020年における本区の姿

- バリアフリー化が進み、移動に支障のないまちになっている
- 自転車走行環境が整備され、自転車の利用人口が増加している
- ごみのポイ捨てや違反広告物のない、清潔な環境が保たれている
- 生物多様性を育む自然活動が広がっている
- 「もったいない運動」が区民に根付き、水素など最先端エネルギーの活用に向けた取り組みが進められている



2020年以降の本区の姿

- 誰もが安心して快適に移動できる、グレードの高いまちとなっている
- 安全・快適な自転車走行空間が確保され、来訪者を含めコミュニティサイクルの利用が進んでいる
- まちの美観が保たれ、良好な都市景観が創出されている
- 海、干潟、河川、親水公園など、自然環境豊かな水辺が守り育てられている
- 一人ひとりが環境に配慮する「日本一のエコタウン」が実現されている

取り組み例

まちのバリアフリー化／案内表示・道路標識の多言語化やピクトグラム表示の導入／外国人の利用も見据えた公衆トイレの整備／自転車走行ルートの整備／歩行者や自転車利用者へのマナー向上と安全教育の実施／広域利用を見据えたシェアサイクルの導入検討（隣接区市との連携）／燃料電池バスの導入／新エネルギーの活用促進／美化運動キャンペーン／水辺での清掃活動 など

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

- オリンピック 平成32年 7月24日～8月9日
カヌー（スラローム）競技
7月26日～30日 場 葛西臨海公園隣接地
- パラリンピック 平成32年 8月25日～9月6日

今年、南米初の夏の祭典が開催！ リオデジャネイロ 2016オリンピック・パラリンピック競技大会

- オリンピック 平成28年 8月5日～21日
本大会から「7人制ラグビー」と「ゴルフ」が競技に加わります。
- パラリンピック 平成28年 9月7日～18日
本大会から「カヌー」と「トリアスロン」が競技に加わります。



広報

平成28年
(2016年)

1 / 20

えどがわ

東京オリンピック・
パラリンピックを
みんなで成功させよう！

4

■発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎3652-1151(代表) ☎3652-1109 🌐http://www.city.edogawa.tokyo.jp/

♪ みんなで歌って、オリパラを盛り上げよう ♪ 江戸川区歌 4番 の歌詞決定



江戸川区少年少女合唱団による区歌4番の披露

区では、4年後に迫った「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の気運を高めるため、江戸川区歌4番の歌詞を募集しました。多数のご応募をいただき、ありがとうございました。選定の結果、次のとおり採用作品と特別賞を決定しました。今後、イベントなどのさまざまな機会、皆さんと一緒に歌っていきます。

企画担当係 ☎5662-6045

受賞者

採用作品 葛西第二中学校3年1組6班(5名)

選定委員特別賞 河埜里世さん

※表彰と歌詞の披露は、1月5日に開催した平成28年新年賀詞交歓会で行われました。

江戸川区歌

一、風もみどりの 香にあけて
かがやく朝の 太陽に
空もいらかも 晴れわたる
希望の都市よ わがさとよ

ああ 江戸川はあこがれの
夢がたのしく わくところ

二、古き伝統 誇りつつ
時代をきづく 生産に
若い力が ほとばしる
伸びゆく都市よ わがさとよ

ああ 江戸川は躍進の
鐘高らかに なるところ

三、あすの栄えに 新しき
文化をかかげ とこしえに
自治と自由を もりあげる
平和な都市よ わがさとよ

ああ 江戸川は人の和の
花もあかるく 咲くところ

四、世界に挑む 若人が

陸と水とで 競い合い
日々の努力で 高めゆく
誇れる都市よ わがさとよ
ああ 江戸川は未来への
きらめく虹の 立つところ

区歌4番の制定にあたって

趣旨

江戸川区歌は昭和40年9月に制定され、歌詞に区の良き環境、職住近接のまち、良き住民性が織り込まれ、さまざまな機会であられ続けてきました。

今回、決定した区歌4番は、2020年までの期間限定で使用するもので、「オリンピック・パラリンピック」や「スポーツ」「健康」をテーマとして作品を募集しました。

募集期間 27年9月1日～10月31日

応募総数 878点(最年少6歳、最高齢89歳)
※11月2日～18日に区役所本庁舎および総合文化センターで全作品を掲示しました。

選定委員 (50音順・敬称略)

薄井ゆうじ (作家)
北野 大 (江戸川総合人生大学学長)
鈴木 康夫 (江戸川区少年少女合唱団常任指揮者)
竹宇治聡子 (ローマオリンピック・100m背泳ぎ銅メダリスト)
根本 秀樹 (江戸川区音楽協議会会長)

区民の心が一つになれる歌になることを願って

北野大 選定委員長



幅広い年代の方からご応募いただいた歌詞には、希望や夢などの言葉が盛り込まれ、作者の熱意が伝わる力作ぞろいでした。皆さんの心血が注がれた作品を厳正に選定した結果、「世界に挑む」や「努力」など、未来志向の言葉でまとめられている」「区歌の1番から3番と、それに続く4番とのつながりが良い」「区歌のメロディーにマッチする」などの点を評価し、採用作品を決定しました。この歌が区民の皆さんに愛され、さまざまな場面で歌われることを願っています。

区全体が盛り上がる歌になるよう、想いを込めました

葛西第二中学校3年1組6班

(写真左から) 宮島達也さん 小野里怜奈さん 小松来美さん 玉川洋之さん 長尾祐馬さん

国語の授業で作詞に取り組みました。区歌の7文字・5文字の決められた字数に合わせて詞をつけるのが難しかったです。歌詞には、区の豊かな自然や4年後に向けて若い力が活躍してほしいという願いを込めました。この歌を通して、大会を応援する気持ちや、みんなが努力をして頑張ろうという想いで、区全体の気運が高まってほしいと思います。

